



手足口病、大流行中 家族内感染にもご注意を

平成 29 年 8 月 2 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

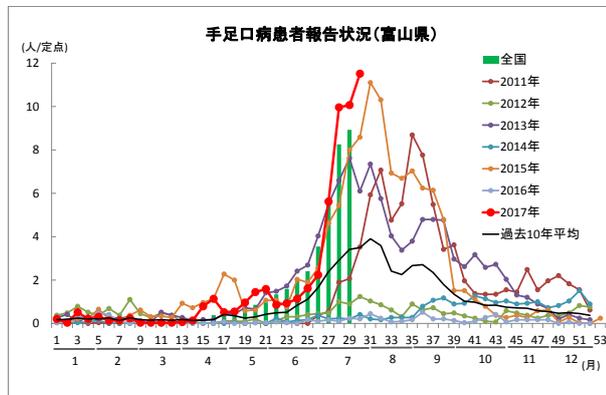
感染症発生動向速報

(平成 29 年第 30 週分・7 月 24 日～7 月 30 日)

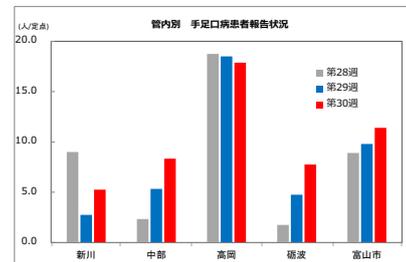
《 インフォメーション 》

●手足口病

今週、手足口病の報告数が定点医療機関あたり 11.52 人となり、先週 (10.07) から増加しました。この疾患は、夏季に流行する傾向があり、現在、流行のピークを迎えていると思われます。最近では、2015 年に大きな流行となりましたが、今年はそれを上回る患者数が報告されています (上図)。地域別では高岡厚生センター管内からの報告が多くなっています (下図)。
患者は 5 歳以下が全体の 9 割以上を占めています。



手足口病は、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど複数のウイルスを原因とする感染症です。手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹を特徴とします。発熱や食欲不振、のどの痛みなどが見られますが、一般的に軽症で、発疹は 3～7 日で消失します。まれに髄膜炎や脳炎などの合併症状が出る場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣 (けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。



感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。**症状がなくなった後も、2～3 週間は便からウイルスが検出されることがあります。** 次のことに注意して感染を予防しましょう。

- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗う (石けんの使用は効果的)。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルや遊具 (おもちゃ等) を共用しない。
- タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 2 件 (①第 29 週診断分: 80 歳代、男性 ②70 歳代、男性)
- 三類感染症 細菌性赤痢 1 件 (50 歳代、男性、*S. sonnei*, D 群)
- 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (10 歳代、男性、O91, VT1, VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1 件 (90 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (10 歳未満、男性)
- 水痘 (入院例) 1 件 (第 29 週診断分: 40 歳代、男性)
- 梅毒 1 件 (20 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	手足口病	11.52	10.07	↑
2 位	感染性胃腸炎	3.83	3.72	↑
3 位	ヘルパンギーナ	2.07	1.41	↑
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	0.72	↑
5 位	R S ウイルス感染症	0.59	0.93	↓
6 位	流行性角結膜炎	0.57	0.43	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第30週 平成29年7月24日～平成29年7月30日）

分類	疾患	今週報告分（第30週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1			1	8	5	28	10	50	101	
三類感染症	細菌性赤痢					1	1			1		1	2	
	腸管出血性大腸菌感染症			1			1		2	2	1	7	12	
四類感染症	A型肝炎							2				1	3	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症					1	1	4		6	1	8	19	
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1			4	1	6	
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネセラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）												1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病												1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2			4	6
	後天性免疫不全症候群									1			2	3
	ジアルジア症							2		1				3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1		1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	4		2	2		17	25
	水痘（入院例）												1	1
	梅毒			1			1	1		3			2	6
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							1,886	1,364	2,452	1,551	3,416	10,669
RSウイルス感染症			1		6	10	17	34	24	30	45	356	489	
咽頭結膜熱		6	3	2	1	4	16	63	22	200	61	150	496	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	11	5	11	31	106	40	672	224	561	1,603	
感染性胃腸炎		31	21	7	1	51	111	1,070	715	1,115	509	2,427	5,836	
水痘		1					1	6	30	68	29	111	244	
手足口病		21	25	143	31	114	334	99	107	655	69	610	1,540	
伝染性紅斑										5	1	17	23	
突発性発しん			1	7		1	9	34	23	135	53	91	336	
百日咳			0.33	0.88		0.10	0.31							
ヘルパンギーナ		3	4	28	16	9	60	22	15	94	26	47	204	
流行性耳下腺炎		2	1	5		3	11	145	61	396	74	342	1,018	
急性出血性結膜炎										3	2		5	
流行性角結膜炎			1	1	2		4		2	208	16	5	231	
細菌性髄膜炎			1.00	0.50	2.00		0.57							
無菌性髄膜炎								1					3	4
マイコプラズマ肺炎					1		1	9	2	13	8	16	48	
クラミジア肺炎					1.00		0.20					1	1	2
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）							0	54	3	38	107	98	300	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。